

# ふっ子



福井県子連だより 第25号 平成31年3月

太陽のように  
温かい心を持ち  
地域で明るく輝き  
家族の絆を深める子

編集・発行  
一般社団法人 福井県子ども会育成連合会  
〒918-8135 福井県福井市下六条町14-1「福井県生活学習館内」  
TEL (0776)41-3908 FAX (0776)41-3916  
ホームページ <http://www.kodomo-kai.or.jp/fukui/>



## 子ども会 いいね ねだね〜

### 第42回 福井県子ども会壁新聞コンクール 特別賞

知事賞

坂井市正蓮花子ども会



「アーモンドの調査隊新聞」

福井県議会議長賞

越前市村国3丁目子ども会



「村3のわだい めしあがれ新聞」

福井県教育委員会賞

あわら市山室子ども会



「山室探検隊!」

嶺南地区育成研究大会



福井県子ども会  
育成研究大会



勝山・おい交流会



越前市・南越地区子どもまつり



福井県子ども会ジュニア・リーダー研修会

INDEX

P2 福井県子ども会育成研究大会  
福井県子ども会ジュニア・リーダー研修会  
嶺南地区育成研究大会  
ユース塾

P3 勝山市・おい町交流会  
福井市子ども会  
坂井地区ディスクドッジ交歓大会  
越前市・南越地区子どもまつり  
越前市子ども会レクリエーション大会

P4 子ども会育成研究大会  
P5 栄光の表彰  
P6 福井県子ども会壁新聞コンクール

● **第12回 福井県子ども会育成研究大会**

165名  
参加!

平成30年 12月2日(日)  
in 福井県生活学習館

福井県知事 西川一誠 様をお迎えし県子連表彰をはじめとした各表彰式を行いました。その後はファシリテーターの富永良史先生に「らしさを活かす ゆるやかなリーダーシップ術」と題しまして研修会を行って頂きました。



冒頭から富永先生「らしい」ファシリテーションで幕を開け、子ども会における「今どきの人づくり・絆づくり・地域づくり」についてお話しいただきました。合間に入れられたワークショップでは、紙一枚から学ぶチーム運営について学ぶことができました。今後も県子連は市町・単位子ども会の充実した活動のために研修会を開催してまいりますので、どうぞご参加ください。

● **福井県子ども会ジュニア・リーダー研修会**

60名  
参加!

平成30年 12月8(土)・9日(日) in 敦賀市少年自然の家



おおい町子連・敦賀市子連ジュニア・リーダーと敦賀市子連コース・リーダーが加わり、3回の実行委員会を重ね2日間のスケジュールを作り上げました。福井県下のジュニア・リーダーが、ゲームや班活動などを通してお互いの親睦を深め、講義の際にはみんな真剣にKYTの話を聞いていました。最終日の思い出作りでは写真を撮り合うなど、別れを惜しむ姿が見られました。

● **第39回 嶺南地区育成研究大会**

45名  
参加!

平成30年  
11月24日(土)  
in 若狭町  
三方体育館



第1部として、ジュニア・リーダー活動奨励賞と嶺南子連表彰が行われ、第2部では、ニュースポーツ系講習会としてドッジビー・ポッチャ・バブルボール・かるたの体験を参加者にさせていただきました。

お金をかけなくても遊べて、そして年齢層が幅広くても、初対面の人とでも楽しく参加できるゲームばかりで、最後には軽く汗ばむほどでした。



● **平成30年度 ユース塾**

40名  
参加!

平成31年  
2月9日(土)  
・10日(日)  
in 鯖江青年の家



ここ数年、雪の影響もあって、3年ぶりに開催されたユース塾。福井県立鯖江青年の家に各市町のジュニア・リーダーズクラブが集い、ユース・リーダーの指導の下研修会が開催されました。

レクリエーションの組立て方では「依頼情報・レクの役割(質)・プログラム作成・レジェ・ふりかえり」などレク活動の大切な事がらに気づき、実践をとおり、ジュニア・リーダーや指導者が学びなおす良い機会となりました。



平成30年 10月27・28日 (土)・(日)  
**勝山市子ども会・おおい町子ども会  
 勝山市・おおい町交流会**



in 八ヶ峰家族旅行村

37名参加!

一泊2日の交流会が八ヶ峰家族旅行村にて開催されました!積極的な子たちが集まった今回は、自己紹介、アイスブレイキングからの「虹鱒釣り」「キーホルダー製作」などの活動とともにすぐに打ち解け合い、微笑ましい光景でした。

夕方早い時間に、火起こしから始めた夕食のBBQの準備では、なかなか点火できずに苦勞するも、無事点火に成功!自分で釣った虹鱒の味にみんな大満足でした!

2日目のスポーツなどの交流が終わるまで、笑顔の絶えない交流会となりました!



平成30年 11月18日(日)  
**福井地区子どもまつり  
 第50回福井市子ども大会**



in 福井市西体育館

130名参加!

「子どもたちによる子どもたちのための子ども大会」をコンセプトに、毎年開催されている福井市子ども大会は、

今年度50回の記念大会を迎えました。

午前中は開会式の後、ジュニア・リーダーの皆さんのアイスブレイク、結城市・熊本市交流の体験発表、社北地区子ども会の活動発表がありました。午後からは、ジュニア・リーダーのレクリエーションの後、参加した子どもたちが8チームに分かれて、「立体パズル」「漢字パズル」「巨大風船リレー」の3つのゲームに挑戦しました。チーム戦で各ゲーム毎に順位をつけ、3つのゲームの総得点で、優勝・準優勝・3位を決定しました。

地区や学年の違う子どもたちが力を合わせてゲームに取り組んでいて、初めは遠慮がちだった子どもたちも、最後の風船リレーでは大きな声援をおくって盛り上がりました。司会・進行は、交流事業に参加した子ども大使とジュニア・リーダーズクラブの子どもたちが行いましたが、しっかりと自分たちの役割と責任を果たしてくれました。子どもたちのパワーと熱気が感じられた楽しい1日でした。



平成30年 12月8日(土)  
**坂井地区子ども会  
 ディスクドッチ交歓大会**

in トリムパークかなづ

200名参加!

坂井市・あわら市の予選大会を勝ち抜いてきた精鋭19チームがディスクドッチに汗を流しました。

低学年の部は1~4年生、高学年の部は5~6年生で実施しました。男女の区別や年齢差に関係なく楽しめるのがディスクドッチの特徴です。女の子が男の子をアウトにしたり、低学年の子たちが大活躍していたりと、

練習の成果がうかがえ、子どもたちの元気な姿を確認することができました。



平成31年 1月14日(祝)  
**越前市・南越地区子どもまつり  
 越前市子ども会レクリエーション大会**

in 丹南総合公園体育館

63名参加!



子どもたちは、空き缶積みやペットボトルキャップ投げ、新聞皮むき、ストップウォッチで9.98秒を出す個人競技に挑戦。ベストスコアを目指しました。また、ピンポン玉運びやペアにした靴下の玉入れ、キャッチング・ザ・ステックの団体競技では、10人でチームを組み、力を合わせて優賞を狙いました。レクリエーションを通して、地区や学年を超えて交流を深めることができました。



# 子ども会育成研究大会

平成30年  
10月28日(日)

## 第30回 奥越・高志地区

in 大野市消防本部

33名  
参加!

子ども会等の行事中、人命に関わる事態が発生した際に素早く対応するため、救急救命講習を行いました。大野市消防本部の救急救命士2名の方に人工呼吸の方法や、心臓マッサージ及びAEDを使用した心肺蘇生法をご指導いただきました。心臓マッサージを継続して行うことの大変さや、心肺蘇生法を実施することの重要性を学ぶことができました。



○参加者の感想  
人命救助の実技  
体験が習得でき、  
とても良かった。

平成30年  
11月7日(水)

## 鯖江・丹生地区

39名  
参加!

in 越前町生涯学習センター



グループワーク



グループ発表



『宮崎地区子連の取り組み事例発表』のあと山崎県子連会長より「子ども会のありがた」の研修が行われました。そのあとグループに分かれワークショップが行われ、意見交換や課題・問題点について活発に討議されました。市町子連を超えたグループの為、様々な観点から考えられてよかったとの意見が多く聞かれました。

平成30年  
11月22日(木)

## 越前市・南越地区

50名  
参加!

in 越前市福祉健康センター



「助け合い、支え合う防災の力を身(実)に付けよう」と題して、越前市子連の事務局長であり越前市防災士の会副会長でもある井上郁子さんに講師をお願いしました。

防災クイズや防災かるたを使って、災害に対する備えや非常時のときの対処法を楽しみながら学びました。子供達を預かる私たち市子連スタッフの責任を新たに感じました。



平成30年  
12月1日(土)

## 福井地区

200名  
参加!

in アオツサ



「いまどきの子をぐんぐん伸ばすメンタルトレーニング講座Part4」が開催されました。

今年で4年連続で飯山先生をお招きしての開催となりますが、今回も盛会に終わることができました。皆さん熱心にメモを取られ、講演後の質疑応答でもたくさんの方が手を挙げて下さいました。また、講演会終了後のアンケートにも120名の方が記入して下さいました。



# おめでとう栄光の表彰



- ・全国子ども会連合会長表彰
  - ・個人の部(指導者、育成者)
    - 松田 富美子 大野市
    - 藤原 一朗 おおい町
  - 団体の部
    - (ジュニア・リーダー組織)
      - 高浜町ジュニアリーダーズクラブ 高浜町
    - (東海北陸地区 子ども会連絡協議会表彰)
      - 幸池 美智子 小浜市
      - 小嶋 ちづる 大野市
- ・ジュニア・リーダー活動奨励賞
  - 吉池 紗江 福井市
  - 沖田 歩香
  - 山下 夢潤
  - 山川 絢野
  - 鈴木 琢人
  - 坂田 竜之助
  - 加藤 智西
  - 鈴木 千智
  - 金谷 美乃里
  - 森上 真白
  - 江上 志温
  - 熊谷 北斗
  - 熊田 葵
  - 真田 風悟
  - 中村 友紀
  - 中村 伸悟
  - 梅田 乃愛
  - 上坂 嘉崇
  - 酒井 瑞歩
  - 栗塚 あゆみ
  - 若野 梨蘭
  - 増田 章奈
  - 竹内 悠生
  - 野島 悠悟
  - 高田 健伸
  - 荒木 采子
  - 田中 紀子
  - 石崎 寛衣
  - 菅原 乃明
  - 青池 悠奈



- ・文部科学大臣表彰
  - ・社会教育功労者
    - 中西 美和子 越前市
  - ・(県教育委員会表彰)
    - ・社会教育功労者
      - 上野 重隆 越前町
    - ・(児童福祉関係者知事表彰)
      - 優良子ども会
        - 順化地区子ども会育成会 福井市
  - ・青少年育成福井県民会議会長表彰
    - 齊藤 明美 越前市
  - ・福井県教育委員会表彰
    - ・青少年地域活動奨励賞
      - 小堀 向日太 若狭町
      - 竹内 亮人 坂井市
      - 岡田 留奈 あわら市
      - 山崎 航輝 おおい町
      - 高橋 真由 福井市
      - 濱内 豪飛 おおい町
      - 伊藤 唯華 福井市

## ふくいっ子 編集委員

- 松岡 利和・柏谷 敏晴・塚谷津弥子
- 潮木 雅代・松田 輝治・松田 藍
- 辻川 明男・山田 耕示・伊藤 祐稔
- 深水 美紀・田中 豊樹

## 編集後記

今年度は第73回福井しあわせ元気国体・障害者スポーツ大会があり、子ども会行事も日程等に御苦労があった事と思います。その中で、各県・市・町子連では事業等を継続して開催され、また資料提供にも御協力を頂きありがとうございます。本誌発刊に当り皆様にご挨拶申し上げます。

## 子ども会の皆さん! 子ども会活動を安全・安心に行うために 福井県子ども会育成連合会に加入しましょう!!

(全国子ども会安全共済会の加入に必要です)

加入するには、各市町子ども会又は、県子ども会までお問合せください。(子ども会にかかわる人は、0才~大人まで入れる共済です。)

1年額払込金 **230円**

安全共済会	死亡	600万円	事故発生日より180日以内に死亡した場合
	後遺障害	7万円~600万円	(後遺障害等級表による)
	負傷疾病	保険医療費総額の30%	治療期間は180日を限度とする。総額50万円を支給限度とする。 ※注 保険医療機関に限ります
賠償責任保険	対人	1事故 5億円 1名 1億円(免責なし)	
	対物	1事故 200万円(免責金額1,000円)	
	対物(外部からの器物)	1事故・保険期間中につき1,000万円(免責金額3,000円)	

### 支払事例

(安全共済会)

- プールサイドで転倒して、脇腹を打ってあばら骨を骨折した。
- ラジオ体操中、蜂に頬を刺された。
- お祭りのお神輿巡業中に転倒し、落ちていた画紙が膝に刺さった。

(賠償責任保険)

- 町内の通学路の草刈り中、石が飛んで観光バスの窓ガラスを破壊させた。
- 資源回収中リヤカーが、停まっていた第三者の車のバンパーに当たり破壊させた。

※賠償責任保険の支払の有無等は、保険会社が判断します。

# 第42回 福井県子ども会壁新聞コンクール

**福井新聞社長賞**

坂井市池上子ども会



「池上新聞」

**福井テレビ社長賞**

福井市円山子ども会育成会



「ENZAN子ども記者新聞」

**福井県子ども連会長賞**

越前市三ッ俣町子ども会



「三ッ俣町新聞」

**優秀賞【低学年の部】**

敦賀市鑄物師町子ども会



「いもじのおみせしょうかい新聞」

坂井市正蓮花子ども会



「夏休みの思い出」

大野市東部子ども会



「たのしみ東部ニュース」

越前市三ッ俣町子ども会



「みつまた ぼうえいたい」

子ども会壁新聞コンクールを審査して

ずらりと壁新聞が並び審査会場。一つ一つ見ていくと、それぞれ地元の良いところが伝わってきます。楽しそうな催し、魅力あふれる人々…。行ってみたい、会ってみたい気持ちになりました。どの作品も味があり、賞を選ぶのは本当に大変でした。

地元の良さ。これを伝える新聞を作るのは簡単な作業ではなかったでしょう。まず「良さ」とは何かを考える必要があります。歴史や風景、施設、人なのか。動植物やモノ、もしくは自分たちなのかもしれませんね。決まれば次は取材して記事を執筆。写真も撮り、見出し、イラストなどと一緒に、紙1枚という限られたスペースに見栄えを考えて配置します。取材や写真撮影のやり直しもあったかもしれませんが。

壁新聞を作る作業は、考える、決める、実行する、の繰り返しだったと思います。これは本物の新聞づくりと同じ（ほかの仕事も同じです）。しんどかったでしょうが、この経験と取材で得た地元情報は必ず役に立ちます。また古里愛も育ったのではないのでしょうか。古里は一生、自分にとって一番の宝物。このことを知るきっかけに、壁新聞作りがあればいいと思っています。

福井新聞社 編集局メディア整理部

福田 淳

